

取組の概要【1ページ以内】

◆取組の趣旨及び目的

本取組を実施する政治経済学部は、政治経済学科とコミュニティ政策学科の2学科からなる。学生の多くは地元中小企業・中堅企業に就職していて、それら中小規模の組織では、政治・経済の実学的な知識に加えて、情報コミュニケーション技術(ICT)を身に付けた学生を求めている。(P.14 表2を参照)

本取組では、学修を支援する教育指導体制及び実学的な専門知識とICTを学修するカリキュラムの改革を行うとともに、職業観をより一層養成することにより、地域社会の中小組織の要請に応えた就業力を向上させることを目的とする。

◆取組の概要

①**教育指導体制** 既に使用している e-ポートフォリオ・システムをキャリア ポートフォリオ・システムとして拡充し、1年次より各学生のレポート・面談記録・アルバイト状況等を教職員や学生自身が入力し、蓄積していく。蓄積された情報は、1年次からゼミ教員による面談や就職活動の指導にも活用する。

②**カリキュラム** 実務関係者の意見も取り入れて、実学的な専門科目の新規開講・ICT科目の必修化を行い、体系的な実学科目を学修するカリキュラムを作成する。実務関係者の講義による科目を新規開講するとともに、その「ケースレポート」の添削を繰り返すこと等で、相手の話を理解し自分の考えを表現するコミュニケーション能力を身に付けさせる。また、「模擬面接」等により口頭での総合的なコミュニケーション能力が身に付いたことを確認する。さらに、全学生が「ITパスポート試験」を受験して、経済や情報に関する統合的な知識が身に付いたことを確認する。これらの科目の履修状況・提出物等もキャリア ポートフォリオに蓄積する。

③**職業観の養成** 上記の企業等実務者による講義では、専門科目で習得した知識がビジネスの現場で活用されていることも理解させて、職業観も養成する。さらに、全学生がインターンシップを行い、現場での実習を通し、職業人として必要とされる資質能力を意識させる。インターンシップに関する指導にもキャリア ポートフォリオを活用し、実習レポート等もキャリア ポートフォリオに蓄積する。

◆取組の体制

本取組は、政治経済学部教授会として実施する。学部長の責任の下に、教職員と第三者機関からなる就業力支援室を設置し、関連する事務組織(教務課・キャリアサポート課等)と連携するため就業力支援連絡会議を開催する。教員及び事務組織間で、キャリア ポートフォリオを活用して、情報を共有する。既に連携を行っている企業・NPO・地方自治体との関係を継続し、カリキュラム作成・実務関係者による講義も依頼する。

評価においては、ゼミ教員が学生の状況を把握し、就業力支援室がチェックし、実務関係者をメンバーとした第三者機関が確認する。

◆取組の達成目標

学内の「模擬面接」で全員が合格することを目指す。学外の「パソコン検定」は全員3級以上の合格、「ITパスポート試験」には70%以上の合格を目指す。学生の就職準備意識を高め、進路率(卒業生数に対する就職者及び大学院等進学者の合計の比率)を75%に引き上げるとともに、採用企業の満足度を向上させることを目標とする。